

令和 6 年度 ニシン漁獲物調査速報 (6)：小樽地区

1～3 月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 3 月 6 日に小樽市漁協で水揚げされたニシンについて、漁獲物調査を実施しましたので結果をお知らせします。後志管内でのニシン漁獲が少ないなか、標本採取にご協力いただいた小樽市漁協職員の皆様、ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

小樽地区ではサイズ別に大きいほうから「1 番」、「2 番」、「3 番」という銘柄がありますが、3 月 6 日では、「1 番」の漁獲は無く、「2 番」の漁獲が 25 箱、そして「3 番」の漁獲が 2 箱でした。

2. 銘柄「2 番」の結果

銘柄「2 番」の標本 45 尾中、オスが 24 尾、メスが 21 尾でした。メスはやや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が 12 尾（57%）で、卵粒が透明化し、生物測定中に流出するような個体（熟度 40）が 9 個体（43%）でした。不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものはみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、103.7 g（57.6～168.9 g）でした。尾叉長 31～32 cm 台の個体が多く（図 1）、体重 360～389 g の大型個体が中心になっていました（図 2）。

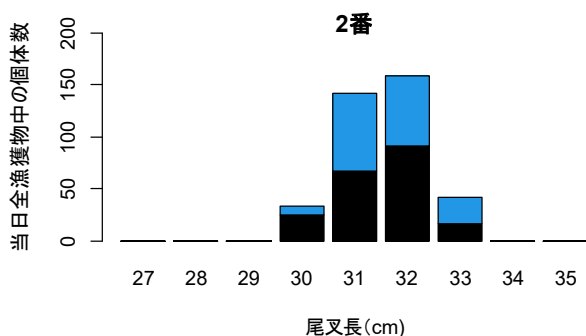


図 1 銘柄「2 番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

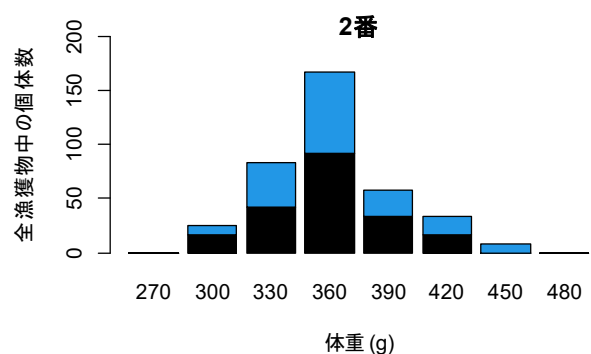


図 2 銘柄「2 番」の体重（黒：オス、水色：メス）

3. 銘柄「3 番」の結果

銘柄「3 番」の標本 34 尾中、オスが 16 尾、メスが 18 尾でした。メスはやや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が 11 尾（61%）でした。卵粒が透明化し、生物測定中にダラダラと流出するような個体（熟度 40）は 7 尾（39%）で、不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものはみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、59.9 g（47.3～69.2 g）でした。尾叉長 28～29 cm 台の個体が多く（図 3）、体重 210～269 g の個体が中心になっていました（図 4）。

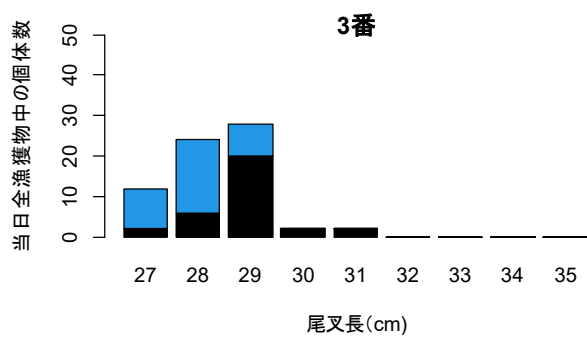


図3 銘柄「3番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

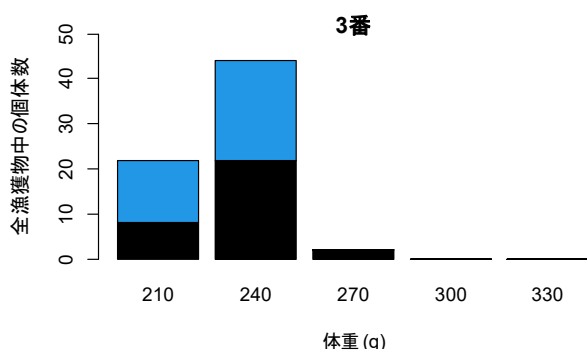


図4 銘柄「3番」の体重組成（黒：オス、水色：メス）